

人格特性の多面性診断 診断結果サンプル

http://?r=2

ずしも正確なものではありません。

診断結果

項目	点数(低い)	0	1	2	3	4	5	6	点数(高い)
A	打ち解けない		●						打ち解ける
B	知性的ではない		●						知性的である
C	情緒不安定		●						情緒安定
D	謙虚である		●						独断的である
E	慎重に対応					●			確率に行動する
F	責任感が弱い							●	責任感が強い
G	物おじする	●							物おじしない
H	精神的に強い			●					精神的に弱い
I	信じやすい			●					疑い深い
J	現実的					●			空想的
K	率直			●					細才ない
L	自信がある			●					自信がない
M	保守的		●						革新的
N	集団指向的		●						個人指向的
O	気まま			●					自律的
P	くつろぐ				●				緊張する

続いて、135@huseec.comさんの性格を多尺度から判別した場合の図表内の「●」に注目してください。
「●」の位置が左右に振られるほど、135@huseec.comさんの尺度ごとの性格が左右の用語によって表現される人格特性をより強く持っていることを意味しています。

135@huseec.comさんは、多面的な性格を有していますが、全体として両極のある個々の尺度についてやや中央値に近いスコアとなっています。つまり、それぞれの尺度について極端な認知があまりないということになります。自己の性格についての認知がやや中庸的で、穏和な性格特性が伺えると同時に、それぞれの性格尺度を全体として統合している均衡型に近いといえます。それだけに、やや安定したパーソナリティの持ち主であり、状況への適合力も多少はあるといえるのですが、反面では際立った特徴がないといえます。

他者から見ると、一言で表現できるような人格特性上の特徴があまりなく、掘み所がないという印象をもたれるかも知れません。ただ、個々の尺度の中に、0.1とか5.6のスコアがないかどうか確認してみてください。その数は少ないと思われますが、その尺度こそが135@huseec.comさんの性格をもっとよく表現する特性ではないかと思われます。

理想の性格というものはありませんし、逆にダメな性格というものもありません。他者に対する親和性・受容性がやや高く、「いい人」と思われたいという指向が働いている可能性もありますが、自己表現を抑制しているわけではないようです。自己表現を抑制する圧力はないと思われますが、反面、あまり目立ちたくないという姿勢があるのかも知れません。

次に、135@huseec.comさんの性格を類別尺度ごとに判定した結果を表示し、簡単な解説も付記しておきますので参考にしてみてください。

そして、両極のどちらかに偏っている尺度は、135@huseec.comさんにとっても注目尺度といえます。135@huseec.comさんの全体としての性格は、この注目尺度によって創り出されていると考えられます。

Aのスコア 1.54 (a) 0 1 2 3 4 5 6 (b)

(a)打ち解けない …… 批判的、冷静、がんこ、不機嫌、よそよそしい
(b)打ち解ける …… 社交的、のんき、気のよい、情にもろい、おっちょこちょい

Bのスコア 1.76 (a) 0 1 2 3 4 5 6 (b)

(a)知性的ではない …… 支離滅裂、なげやり、頭の弱い、やる気がない、漢はか
(b)知性的である …… 語がやわらかい、集中心のある、頭脳明晰、知性的、まじめ

各尺度の診断結果を7段階で表示

総合評価におけるコメント

各尺度におけるスコアと
コメントを表示

人格を表す16の尺度(32項目)における診断結果(7段階に類型化されています)を表示します。また、今後のキャリア形成における克服ポイント・注意点などを中心とした「総合評価におけるコメント」は、「自己分析」「自己理解」に有用です。